

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE-埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	IHI 鶴ヶ島工場 新拠点建設工事 民	階数	地上2F
建設地	圏央鶴ヶ島インターチェンジ東側土	構造	S造
用途地域	工業専用地域(現状 無指定)、準防	平均居住人員	350 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,380 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年9月25日
敷地面積	33,259 m ²	作成者	松田 行裕
建築面積	20,526 m ²	確認日	2018年9月25日
延床面積	23,920 m ²	確認者	松田 行裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 埼玉県鶴ヶ島市に計画された工場である。リサイクル材・節水器具を積極的に採用する等、環境負荷の低減に配慮した建物である。 CASBEE埼玉県2016年度版による評価である。		その他
Q1 室内環境 高い昼光率を確保し、事務室内の光・視環境に配慮している。 全館禁煙として室内の空気質環境に配慮している。	Q2 サービス性能 ゆとりある天井高、リフレッシュスペースの確保等により、居住者の快適性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 既存の緑を残し、生物環境の保全に配慮している。
LR1 エネルギー 外皮の高断熱化による熱負荷の抑制、高効率な設備システムの採用により環境負荷の低減を図っている。	LR2 資源・マテリアル 節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 リサイクル材や再利用可能なユニット部材を使用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画とし、光害抑制を図っている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質)、**L: Load** (建築物の環境負荷低減性)、**BEE: Built Environment Efficiency** (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
IHI 鶴ヶ島工場 新拠点建設工事 民整備棟

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
0 建築物の環境品質									2.8
Q1 室内環境			0.30						2.9
1 音環境		2.6	0.15						2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40						
1.2 遮音		3.0	0.40						
1 開口部遮音性能		3.0	0.60						
2 界壁遮音性能		3.0	0.40						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		1.0	0.20						
2 温熱環境		2.5	0.35						2.5
2.1 室温制御		3.2	0.50						
1 室温		3.0	0.38						
2 外皮性能	外壁U値:0.93W/m ² K、窓システムU値:3.46W/m ² K SC:0.29	4.0	0.25						
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 湿度制御		3.0	0.20						
2.3 空調方式		1.0	0.30						
3 光・視環境		3.6	0.25						3.6
3.1 昼光利用		3.0	0.30						
1 昼光率		3.0	0.60						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	0.40						
3.2 グレア対策		3.0	0.30						
1 昼光制御		3.0	1.00						
3.3 照度	500lx	4.0	0.15						
3.4 照明制御	1作業単位で制御、リモコンスイッチで調整可能	5.0	0.25						
4 空気質環境		3.2	0.25						3.2
4.1 発生源対策		3.0	0.50						
1 化学汚染物質		3.0	1.00						
4.2 換気		3.0	0.30						
1 換気量		3.0	0.33						
2 自然換気性能		3.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33						
4.3 運用管理		4.0	0.20						
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50						
2 喫煙の制御	全館禁煙	5.0	0.50						
Q2 サービス性能			0.30						3.1
1 機能性		2.9	0.40						2.9
1.1 機能性・使いやすさ		2.0	0.40						
1 広さ・収納性		1.0	0.33						
2 高度情報通信設備対応		2.0	0.33						
3 バリアフリー計画		3.0	0.33						
1.2 心理性・快適性		3.6	0.30						
1 広さ感・景観		3.0	0.33						
2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペースの確保、自販機の設置	5.0	0.33						
3 内装計画		3.0	0.33						
1.3 維持管理		3.5	0.30						
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した内装設計等	4.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30						2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種以上にC以上を使用	4.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20						
2.4 信頼性		2.8	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1未満	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPIm] = 0.66		-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.66	4.4	0.63	-	-	4.4
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓、省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材(廊下等)、床タイル(風除室)、OAフロア(事務室等)の3品目を使用	5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡系断熱材:ODP<0.01、GWP<50	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率:84%	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			1.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周辺への光害に配慮した屋外照明計画	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	IHI 鶴ヶ島工場 新拠点建設工事 民整備棟	BEE	1.2	BEEランク
------	------------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	2.3	=	5.9 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
< 配慮した内容を記述 >			
高効率な設備機器の導入により、CO ₂ 排出量を抑制している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
< 配慮した内容を記述 >			
既存緑地を残すことで、生物環境の保全を図るとともに、室外の温熱環境の向上に配慮している。建物を低層とし、敷地境界からセットバックした配置とすることで、敷地外への温熱環境に配慮した計画としている。			

: 入力欄